

第15回 夏休みピノキオ木工芸作品コンクール表彰

自由な発想の力作ぞろい

子どもたちに夏休みを利用して木に親しんでもらおうと『夏休みピノキオ木工芸作品コンクール』を開催し、8月27日に市役所で表彰式がありました。応募点数はテーマ部門とフリー部門合わせて49作品。大人では思いつかない発想で作られた作品の数々は、この日まで市民ロビーに展示され、来場者の目を楽しませました。



↑表彰式のあと、深浦弘信市長と記念撮影する受賞者

テーマ部門「わたしの家」



早川 心陽さん
(大坪小2年)

木の上に家を建てる話の本を読んで、自分もそういう家に住んでみたいと思い、作りました。釘を打つのが難しかったです。

最優秀賞



『たのしいうち』

優秀賞



『森にたっている
小人のお家』



甲斐 有捺さん
(大坪小5年)

ちょっとみんなと違った作品を作ろうと思いました。工夫したのは、松ぼっくりを使って屋根に模様をつけたところです。

フリー部門



松本 崇貴さん
(東山代小3年)

最初はログハウスを作ろうと思いましたが、いつの間にか海賊船に変わりました。波や窓を付けるところが工夫しました。

最優秀賞



『自分のかいぞくせん』

優秀賞



『ビートル(かぶとむし)
ロケット発射!!』



山本 昂貴さん
(三里小2年)

かぶとむしもロケットも大好きだったのがこの形になりました。細い脚をつけるのが難しかったです。羽の形がうまくできました。



人の動き

令和元年9月1日現在

●人口	54,701人	(- 9)
●男	26,453人	(- 8)
●女	28,248人	(- 1)
●世帯	23,459世帯	(+ 17)
	()	は前月比

この冊子は、1部当たり約38円で作成しています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。

先日、鹿児島県に行ってきました。黒豚のとなかつ、しゃぶしゃぶ、鯉のたたき、しろくまと、食べた物を詰め込んだプランを作り、意気揚々と出発。鹿児島に到着し、まずはとんかつ屋さんで昼ご飯を食べようとした矢先、駐車場で車をぶつけられました。幸い、けが人も出ず、車はかすり傷程度で済みました。問題なく車は動くので、旅行の移動手段に最後まで困らなかったのも、不幸中の幸いだと思うことに。気を取り直して南は日本最南端の西大山駅、北は霧島のアートの森まで車を走らせ旅を満喫できました。帰宅するころには事故が昔のことのように思えるほどに。まあ、けがもしなかったし往復1000kmの旅も楽しかったからよしとしよう。こう偉そうに言う私は運転していませんが(智)

編集室から